

広島に行つて心に残つたこと

浅野 大和

ぼくが広島に行つて、心に残つた事は、二つあります。一つは、広島平和記念資料館です。見学した資料の中には、被爆する前の広島の写真、被爆した後の広島の写真や焼けてぼろぼろの三輪車などがありました。その中でも一番衝撃的だったのは、着ていた服が分からぬぐらいに、やけどげてぼろぼろでした。原爆が投下された八時十五分で止まった。

時計を見た時、原爆が落とされたと思うと、特に、衝撃的で心に残りました。他にも、資料館に行つて、初めて知つた事もあります。それは、広島に落ちた原爆と長崎に落ちた原爆の形や威力がちがうことや、なぜ長崎の方が被害が少なかつたなど、説明が書いてあり、勉強になりました。

二つ目は、原爆ドームです。原爆は原爆ドームから南東に百六十メートルの島病院上空六百メートルで炸裂しました。なぜ原爆ド

ムがあんな形で残っているのかというところ
は、原爆ドームの内柱の部分は、原爆の爆風
がさけたので、中心の部分がふき飛ばさね
に残ったのです。原爆ドームを作ったのは、
チエゴのヤン・レツルという人です。

原爆ドームはもともと広島県物産陳列館と
いう広島県内の物産の展示、販売や美術展な
どができる施設として建てられました。そし
て広島産業奨励館に改名した後、被爆しまし
た。原爆ドームを見た時、原爆の悲惨さが伝
わってきた、心に残りました。

ぼくは、広島に行く前はあまり原爆のこと
は、知りませんでした。でも広島に行くと、
今まで知らなかった、原爆の本当の恐しさを
知ることができ、勉強になりました。もう二
度と、戦争はしてはいけなと思います。原
爆の使用もあってはならないと強く思いまし
た。この事を学校のみんなにも、報告した
と思います。二の事業で学んだことは、良
い経験になりました。本当にありがとうございました。
ましました。